

霧島山の火山活動解説資料

福岡管区気象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方気象台

新燃岳

霧島山(新燃岳)では、本日(16日)11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(平常)に引き下げ、火口周辺警報を解除しました。

新燃岳では、3月30日にごく小規模な噴火が発生して以降、噴火は発生していません。火山性地震は4月7日以降少ない状態が続いています。また、火山性微動は、3月31日以降発生していません。遠望カメラでは、白色噴煙の量は4月1日以降少ない状態です。

これらのことから、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなりました。

火口内及び西側斜面では引き続き噴気がみられており、その近傍では火山灰等の噴出に警戒が必要です。

○ 活動概況

・噴煙など表面現象の状況(図2、図3)

3月30日にごく小規模な噴火が発生しましたが、31日以降噴火は発生していません。

噴煙の高さは、3月30日08時00分頃に白色の噴煙が火口縁上400mまで上がりましたが、4月2日以降は概ね高さ50mで推移しました。また、新燃岳火口南縁に設置している火口カメラでも、噴煙量が減少していることを確認しました。

・地震や微動の発生状況(表1、図3)

3月30日に振幅の小さな火山性微動が4回発生しました。その後3月31日以降は、火山性微動は観測されませんでした。

3月31日02時頃から振幅の小さな火山性地震が増加しましたが、4月7日以降は減少しました。

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>)や気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号 平20 業使、第385号)。

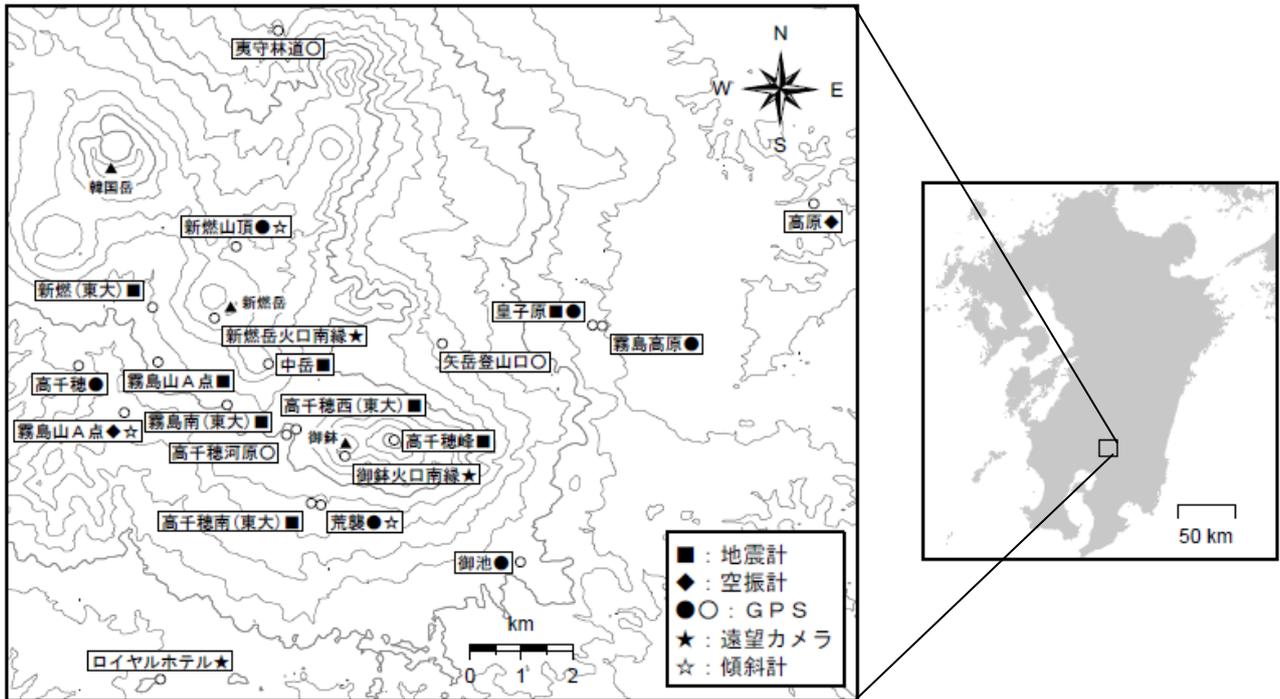


図 1 霧島山 観測点配置図



図 2 霧島山（新燃岳） 火口内の噴煙の状況 左：4月13日09時00分 右：3月30日09時36分
（新燃岳火口南縁に設置してある火口カメラによる）

<噴火以降の状況>

火口内の噴煙量は減少しました。

表 1 霧島山（新燃岳） 噴火後の火山性地震・微動回数（2010年3月30日～4月15日）

2010年3月 ～4月	30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
地震回数	1	62	40	13	14	5	4	5	0	1	1	0	0	1	0	0	0
微動回数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

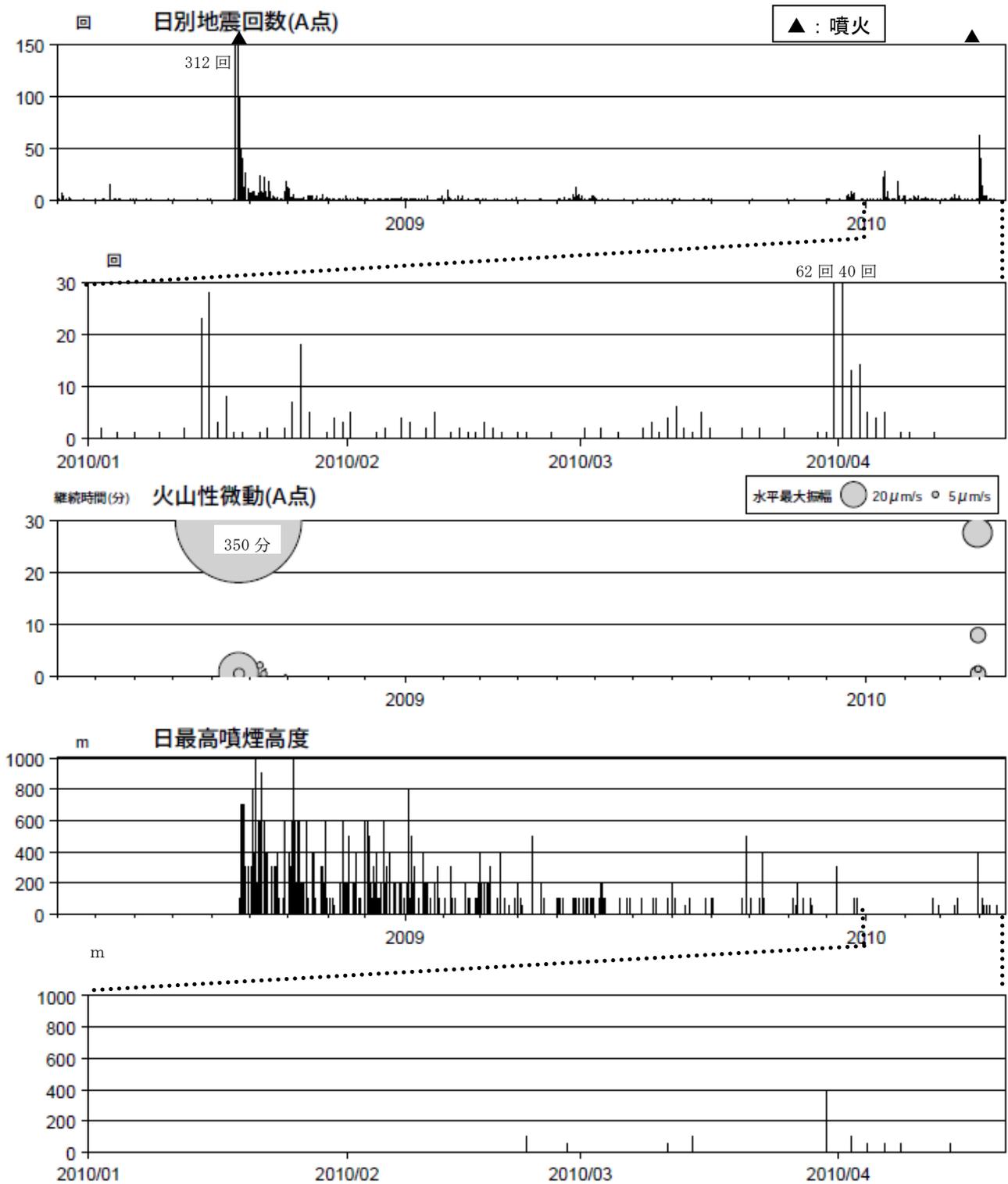


図 3 霧島山（新燃岳） 火山活動経過図（2008 年 4 月～2010 年 4 月 15 日）

<噴火以降の状況>

- ・火口縁を超える噴煙は、4 月 2 日以降概ね高さ 50m で推移しました。
- ・火山性地震は、4 月 7 日以降は減少しました。
- ・火山性微動は、3 月 31 日以降観測されませんでした。